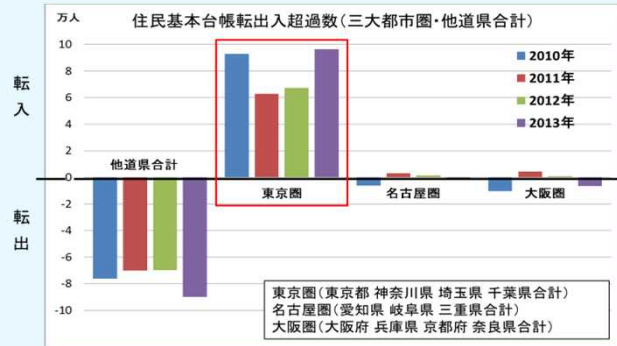


基調講演

演題：地方創生に向けた施策等について
講演者：内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局 次長 菊地 和博

◆日本の人口動向

- ・今後人口減少が加速度的に進行する見込み
- ・東日本大震災前の水準を上回る東京圏への転入超過



資料出所：総務省統計局住民基本台帳人口移動報告(2010～2013年)

◆東京在住者の移住に関する意向

- ・東京在住者の4割が地方への移住を予定又は検討の意向
- ・移住の不安は「雇用」や「日常生活・交通の不便」

産官学金労(産業界・行政・大学・金融機関・労働団体)や住民代表も含めた多様な主体が参画して、自らのこととして策定・検証していくことが重要

将来にわたって「活力ある日本社会」を維持

まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」 [H26.12.27閣議決定]

- ◆長期ビジョン：中長期展望(2060年を視野)
 - I. 人口減少問題の克服：2060年に1億人程度の人口を確保
 - ⇒ 人口減少の歯止め
 - ・国民の希望が実現した場合の出生率(国民希望出生率)=1.8
 - ⇒「東京一極集中」の是正
 - II. 成長力の確保：2050年代に実質GDP成長率1.5～2%程度維持
- ◆総合戦略：2015～2019年度(5か年)の政策目標・施策
 - 「しごと」と「ひと」の好循環作り
 - 〈基本目標①〉 地方における安定した雇用を創出する
 - 〈基本目標②〉 地方への新しいひとの流れをつくる
 - 〈基本目標③〉 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - 好循環を支える、まちの活性化
 - 〈基本目標④〉 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

◆地方人口ビジョン

- 各地域の人口動向や将来人口推計の分析や中長期の将来展望を提示
- ◆地方版総合戦略
 - 各地域の人口動向や産業実態等を踏まえ、2015～2019年度(5か年)の政策目標・施策を策定
 - 〈地方公共団体の戦略策定と国の支援〉
 - ・地方が自立につながるよう自らが考え、責任を持って戦略を推進
 - ・国は「情報支援」、「人的支援」、「財政支援」を切れ目なく展開

意見交換(主な意見)

- ・総合戦略では、地域金融機関が参加できるような仕組みになっているので、できるだけ積極的に参加させていきたい。
- ・地方では人口減少など課題が多いにもかかわらず積極性が感じられない。行政に対して色々提案していくことが必要という感じがする。
- ・地方で頑張っている大学などにも光を当て、いろいろ魅力ある研究をしていただき、ものづくりで一生涯懸命頑張っている企業に就職してもらうことで、産学連携、インターンシップなどを考えながら好循環を回していくことが必要ではないか。
- ・魅力的な地方都市として、固有の伝統文化も継承しながら新たな文化が創造されるような拠点都市をどのようにつくっていくのかが日本再生のキーワードになってくる。
- ・地方のこれまでの多様な取組、懸命に取り組んでいるものがあるとすれば、それをもう一度検証しつつ、今あるマンパワー、資源をどういうふうにも再発掘し、磨き込むか。知恵という意味ではそこが一番問われてくるのではないか。
- ・今までは海外に拠点を置くケースがあったが、首都圏に固まっている企業を地方に持ってくることにインセンティブをつけるために、企業の地方移転を促進する税制というものを、もっとしっかり充実させてほしい。

基調講演

演題：「鯖江から国を変える」～住みたくなる、住み続けたい町、鯖江の創造～
講演者：鯖江市 市長 牧野 百男

◆鯖江版 三本の矢

- >学生連携のまちづくり
 - ・河和田アートキャンプ
 - ・地域活性化プランコンテスト など
- >市民主役のまちづくり
 - ・JK(女子高生)課、OC(おばちゃん)課
 - ・提案型市民主役事業化制度 など
- >オープンデータによるITのまちづくり
 - ・バスどこサービス
 - ・アプリ「さばれぼ」 など

これからの将来を見据えた、次世代に高負担とならない、持続可能なまちづくりに向けた対策が急務

◆鯖江市総合戦略 若者が住みたくなる・住み続けたいまち 鯖江 (素案)

- >新たな産業の育成による雇用の創出
 - ・「鯖江」ブランド確立事業 ⇒ 鯖江をメガネの「バーゼル」に!!
 - ・成長分野への進出支援事業 ⇒ 「眼鏡・繊維・漆器」の三大地場産業の要素技術を活かした「メディカル」、「ウェアラブル端末」分野
- >2次交通網の整備によるコンパクトシティの推進
 - ・コミュニティバス拡張事業
- >ITを活用した新たな公共サービス
 - ・公共料金等のキャッシュレス化、クラウドファンディング事業
- >子育て環境の整備・ふるさと教育の推進
 - ・経済的な負担軽減とともにワークライフバランスの推進
 - ・「ふるさと鯖江」に愛着と誇りの持てる教育

など